

(特非) 時ノ寿の森クラブ

森林・里山を社会財として「シェア」し、持続可能な森林保全を目指す

活動地域  静岡県

ひろげる助成

3年目

実践

森林体験プログラム
延べ参加人数 **1,041人**

参加者リピート率 **56.9%**

今年度計画の達成度 **95%**

目標達成度 **90%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

11/13の人と森を結ぶプラットフォーム内覧会は、今後当法人が、人と森を結ぶ活動を推進することを社会へ約束する目的だったが、新型コロナウイルス禍で現地に来れない人が多かった。

■工夫した点

人と森を結ぶプラットフォームの開設式及び掛川市長との森の対談をYouTubeでLIVE配信とアーカイブ配信を行い、行政とともに連携する森林保全を社会へ発信した。



「人と森を結ぶプラットフォーム」開設式

課題

間伐等の保全活動により再生しつつある小規模民有林だが、生産的価値の減少した状態では、今後も所有者による保全管理は難しく、再び荒廃状態に陥る可能性が高い。

目標

所有者に代わって持続的に保全管理する仕組みを構築するとともに、その森林・里山の公益的価値を社会全体で共有(シェア)する仕組みを整備する。

活動内容と成果

- 土地所有者へ森林保全活動の理解と合意を結びとともに里山の保全と利用の両立を図るための制度「ナショナルトラスト的保全制度」を構築し、より多くの市民や企業等の参加を促す活動を実施
 - ①個人所有林：新たな森林管理制度の対象地となった(経営管理権集積計画22人19.57ha)
 - ②市所有林：協議の結果、当法人を含めた官民一体組織に使用貸借契約を結びことで合意(18.45ha)
- 森林体験プログラムを計59日開催し延べ1,041人が参加。新たな活用として森林のワークスペース利用推進



掛川市長と森の対談「人と森を結ぶ必要性」

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルスが人と人、人と自然のリアルなコミュニケーションの大切さを問い直したと感じている。森のようちえん等の参加が拡大し、その中から開催日以外の日常でも森で家族と過ごす流れができてきた。本助成活動により構築してきた体験プログラムが入口となり、個々の森との関わりがより深まってきていると感じている。



企業と協働で森林保全活動スタート



今後の展望

持続可能な森林保全の肝となる新たな森林管理制度の基盤が整い、森林環境譲与税を活用した保全が2022年度からスタートできるようになった。これまで確立してきた体験プログラムや新たに大人向けプログラムの開発を行い、事業収入拡大をさせ、安定した事業運営を目指す。それらのプログラムを、より多くの市民や企業等の参加を促す活動「人と森を結ぶプラットフォーム」の利用者向けコンテンツとしても提供していきたい。

〒436-0341
静岡県掛川市倉真7021
電話：0537-28-0082
E-mail：info@tokinosunomori.com
HP：https://tokinosunomori.com/

